

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年11月28日（木）

2 確認箇所

プロセス主建屋南側（図1）

3 確認項目

廃スラッジ抜き出し装置設置のための干渉物撤去工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力は、福島第一原子力発電所の事故により発生した汚染水を処理するため、プロセス主建屋に除染装置^{*}を設置し、汚染水の処理を行っていた。

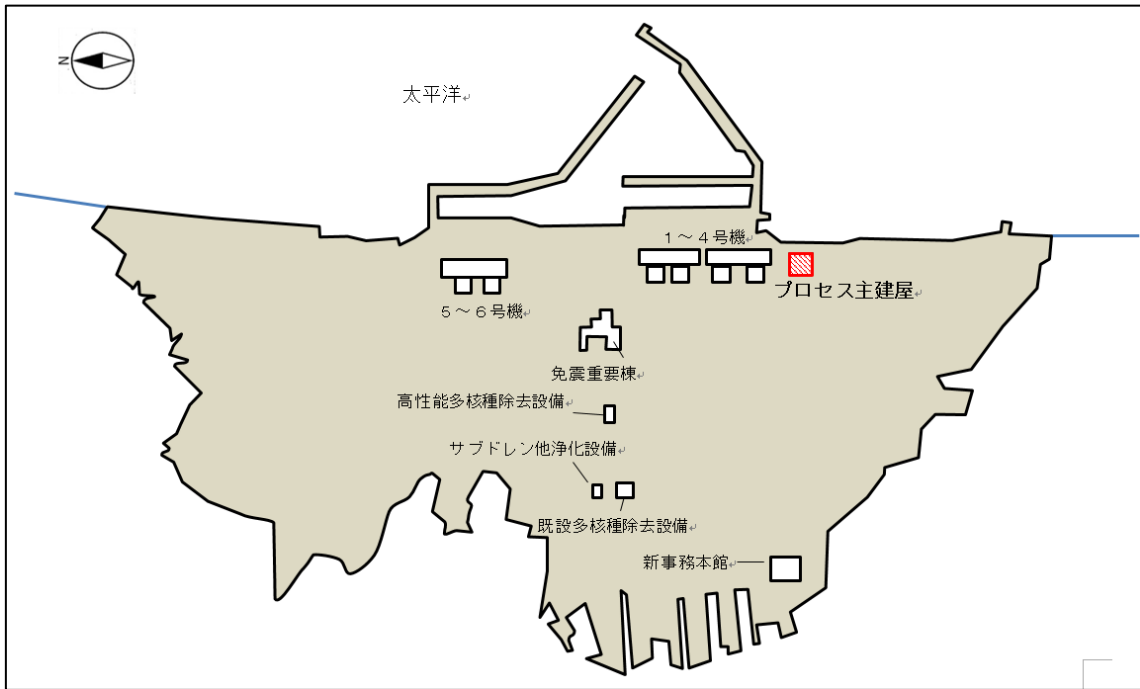
除染装置の運転中に発生した高濃度の放射性スラッジ（以下「廃スラッジ」という。）は、同建屋内の造粒固化体貯槽Dに保管している。

津波の引き波による廃スラッジの流出対策として、建屋開口部及び配管貫通孔の閉塞等の対策を平成30年9月に完了しているが、さらなる対策として、同建屋内に廃スラッジ抜き出し装置を設置し、抜き出した廃スラッジを保管容器に収納し、高台エリアへ移送する計画に取り組んでいる。

本日は、廃スラッジ抜き出し装置を設置するために干渉物を撤去する作業が実施されていることから、その状況を確認した。

- ・プロセス主建屋南側において、撤去した干渉物を収納したフレコンバックをクレーンで吊り上げ、輸送車両に積載する作業が行われていた。（写真1）
- ・輸送車両に積載したフレコンバックは、同建屋西側のヤードに吊り降ろし、仮置きされた。（写真2）
- ・指揮者、合図者、監視員等が配置され、適切に作業が行われていることを確認した。

※ 汚染水を処理するため震災直後に導入され、平成23年6月～9月に稼働していた装置。汚染水に薬剤を入れて放射性物質を沈殿させることで処理する。高濃度の放射性スラッジ（汚泥）が発生するため、現在は使用されていない。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
撤去した干渉物を収納したフレコン
バックの吊り上げ作業の状況



(写真1-2)
撤去した干渉物を収納したフレコン
バックの輸送車両への積載作業の状
況



(写真2)
撤去した干渉物を収納したフレコン
バックの仮置き状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。